PRESS RELEASE

報道関係各位

2026年11月26日
株式会社LIXIL

# 「PRIDE指標2026」において最高位「ゴールド」を受賞

## 多様性を推進するインクルーシブな企業文化と共生社会の実現に向けた取り組みが評価される

株式会社LIXIL（以下LIXIL）は、LGBTQ+など性的マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する団体work with Pride（以下：wwP）によって2016年に策定された日本で初めてとなるLGBTQ+に関する企業・団体等の取り組みの評価指標「PRIDE指標」において、9度目となる最高位の「ゴールド」を受賞しました。

LIXILではインパクト戦略における優先取り組み分野の一つに「多様性の尊重」を位置づけており、2030年までにLIXIL全体にインクルージョンの文化を定着させ、ジェンダー不均衡を是正することを目標としています。

LIXILのインクルージョンの文化の定着に向けた活動の一環として、LGBTQ+の従業員が働きやすい職場づくりを推進しています。国内では、慶弔休暇・慶弔金の制度において同性パートナーを配偶者とみなすことや健康診断における配慮や「セルフケア休暇」の取得事由に「トランスジェンダーのホルモン療法のための通院」を含めています。2025年10月には、LIXILの設立以来、日本国内の工場・物流や開発の従業員が着用してきた作業服をD&Iの観点からユニセックス仕様へと刷新するなど、当事者の働きやすい環境整備を進めています。
一方で、従業員のより理解を深めることを目的に、全従業員向けのLGBTQ+について学ぶe-ラーニングの実施やグローバル規模の従業員リソースグループ※のひとつであるLGBTQ+のグループによる、6月のプライド月間に合わせた従業員参加型イベントの開催、社内SNSではニュースレター発信など、積極的な情報発信も行っています。

社外への啓発活動としては、2026年5月に一人ひとりの多様性を可視化し、祝福するためのイベントである「名古屋レインボープライド」に初めて協賛し、LGBTQ+グループメンバーや賛同する従業員ボランティアが協力して、企業ブースの出展やパレードに参加しました。同ブースでは、多様性の視点から誰もが困る可能性がある日本のパブリックトイレの現状を取り上げ、LIXILが提案する「男女共用広めトイレ」や「オルタナティブ・トイレ」を紹介することで、「自分が使えるトイレの選択肢があることの重要性」や誰もが安心して使いやすいという視点を持つ大切さと多様性への理解を深める機会を提供しました。

LIXILはこれからも、従業員が互いに尊重し合うインクルーシブな企業文化の醸成と地域社会への多様性への理解を促す啓発活動を多角的に展開し、多様なニーズに対応するものづくりを進めるとともに、誰もが自分らしく生きられる社会づくりに貢献していきます。

※従業員リソースグループ（ERGs：Employee Resource Groups）は、誰もが働きやすいインクルーシブな職場づくりを進めるために、共通する関心や経験、価値観をもとに従業員が自発的につながり活動するグループ。全従業員がこれらの活動に参加でき、多様な考え方や視点を学び合いながら、制度の改善や製品・サービスに反映させるなどの取り組みを行っている。

**＜参考資料＞**

**■LIXILのインパクト戦略における多様性の尊重**
LIXILは、「企業価値の向上（持続可能な事業成長）」と社会や環境課題の解決における「インパクト（良い影響）の創出」の両立を目指すために、「インパクト戦略」を事業戦略に組み込んでいます。このインパクト戦略の柱のひとつが「多様性の尊重」です。
様々なニーズに対応したイノベーションや持続可能な成長を実現していく上で、多様な従業員の潜在能力を引き出すことができる公平でインクルーシブな環境の構築が重要であると考え、「ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）」を推進しています。
https://www.lixil.com/jp/impact/strategy/impact_strategy.html

**■LIXILインクルージョンの文化の定着に向けた取り組み**
社内のD&Iへの理解を深めるグローバルダイバーシティ推進月間を設けたり、従業員リソースグループ（ERGs：Employee Resource Groups）を立ち上げ、インクルーシブな職場環境を構築するための推進力となる従業員主体の活動を促進しています。その中のひとつ「LGBTQ+ERG」では、LGBTQ+の従業員にとって安全で協力的な環境づくりを目指して活動中です。
国内の人事制度では、慶弔休暇・慶弔金の制度において同性パートナーを配偶者とみなすほか、健康診断における配慮や希望する性の制服着用など就労環境の整備を行っています。
https://www.lixil.com/jp/impact/inclusion/universal_design.html

**■LIXILパブリックトイレラボ**
LIXILパブリックトイレラボは、誰もが安心して快適に利用できる公共トイレのあり方を探求・発信するWebサイトです。人権やSDGsの視点から、多様な利用者に配慮したインクルーシブなトイレ（「男女共用広めトイレ」や「オルタナティブ・トイレ」）の考え方や設計ポイント、事

例を提案しています。

LIXILパブリックトイレラボ
https://www.lixil.co.jp/ud/publictoiletlab/
男女共用広めトイレ
https://www.lixil.co.jp/ud/publictoiletlab/future/unisex/
オルタナティブ・トイレ
https://www.lixil.co.jp/ud/publictoiletlab/future/alternative/
「LIXILの研究」トイレのオールジェンダー利用に関する研究会
https://www.lixil.co.jp/ud/publictoiletlab/study/all-gender-use/

**■PRIDE 指標について**
「PRIDE 指標」は、LGBTQ+など性的マイノリティが働きやすい職場づくりを日本で実現するためにwork with Prideが2016年に策定した日本で初めてとなるLGBTQ+に関する企業・団体等の取り組みの評価指標です。
Policy(行動宣言)、Representation(当事者コミュニティ)、Inspiration(啓発活動)、Development(人事制度・プログラム)、Engagement/Empowerment(社会貢献・渉外活動)の 5 つの指標で構成されており、各指標内で指定の要件を満たしていれば点数が付与され、点数により、ゴールド、シルバー、ブロンズとして企業・団体が認定されます。

About LIXIL
LIXILは、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEMをはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在約53,000人の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開するLIXILは、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。
日本国内においては、「愛すべき日常を、つくろう。」をブランドスローガンとして掲げたLIXILをはじめとする、日本の住まいと暮らしに深く根差したブランドを幅広く展開しています。
株式会社LIXIL（証券コード: 5938）は、2026年3月期に1兆5,107億円の連結売上収益を計上しています。
LIXILグローバルサイト：https://www.lixil.com/jp/

発行元
株式会社LIXIL（https://www.lixil.com/jp）
本社：東京都品川区西品川一丁目1番1号大崎ガーデンタワー24F
※このリリースは、LIXIL Newsroom（https://newsroom.lixil.com/ja/）でも発表しています。